

JOBSON

時計工具セットPRO 取扱説明書



- はじめに -

この度はJOBSON製の「時計工具セット」をお買い上げいただきまして誠に有難う御座いました。安全かつ安心してご使用頂くために事前に本書をお読みください。

時計固定台(電池交換用)

「時計固定具(電池交換用)」は、腕時計をうつぶせに固定し、ドライバーや裏蓋開けオープナーで裏蓋を開ける際に使用します。

時計を固定せずに裏蓋を開けようとするとうまく力が伝わらなかったり、工具を押し込んだ力でズレた際に、手のケガに繋がります。

必ず時計固定台をご使用の上、電池交換をしていただきますようお願いいたします。



1) 側面のネジを左方向に回転させて固定幅を拡げます。

2) 時計のリユーズが窪みに入るよう裏向きで時計を置いたら、固定台ねじを右回転にまわして時計本体をきっちり固定してください
(この時、固定しすぎると時計本体にダメージが生じます。十分ご注意ください)

3) 固定台を手で固定しながら、裏蓋オープナーで時計裏蓋を開けてください。

※力を入れすぎると時計が上向きに外れる恐れがあります。ご注意ください。

ピンセット

「ピンセット」は時計電池を取り外したりばね棒を外す場合など、小さな部品を使用する際にお使いください。



裏蓋オープナー



通常版



改良版

裏蓋オープナーは、時計の電池交換をする際に時計裏蓋を開けるための工具です。

※どちらも問題なくお使いいただけますが、改良版はより力が入りやすい仕様になっており電池交換がより簡単にできる仕様になっています。



お持ちの時計によって「裏蓋オープナー」で電池交換するタイプでない時計もございます。予め腕時計の仕様をご確認ください。

1) 腕時計裏面の端にくぼみがある部分を探してください。

2) 裏蓋オープナーをくぼみに差し込み、テコの力を利用して、上向きに裏蓋パカッと開けてください。

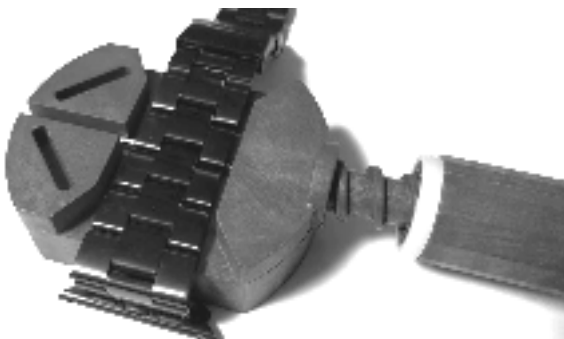
※「固定台」を利用すると、より力が伝わり裏蓋が開けやすくなります

※別途専用電池を購入して電池を交換してください

バンドピン外し器

「バンドピン抜き器」は、ベルト調整のために使用する工具です。

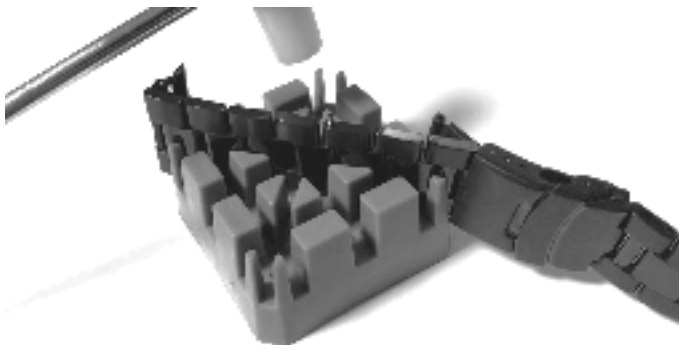
※予告なく仕様が変更になることがあります



1) ベルト調整が可能な時計ベルトは側面にバンドピンが固定されている小さな穴が空いています。（腕時計によってはバンドピン差し込み方向が表記されています）

時計ベルトを固定したらバンドピン抜き機のハンドルを時計回りに回し、バンドピンを押し込みます。

2) バンドピンを反対側から押し込むと、上記のようにバンドピンが抜けます。



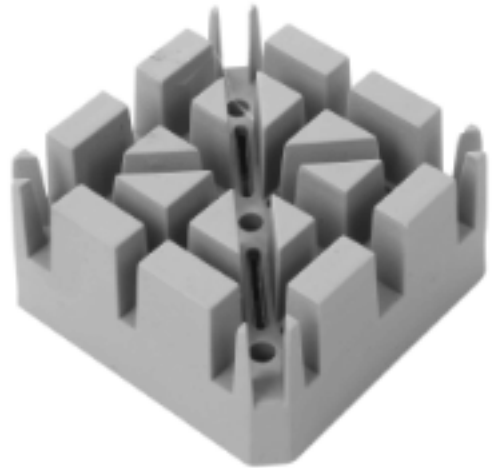
3) ベルトの長さを調整したらバンドピンを差し込み、時計固定台にベルトを垂直に設置したら樹脂ハンマーで時計が傷つかないように複数回に分けてハンマーで叩きながらバンドピンを奥まで押し込んでください。

時計固定台(ベルト調整用) ※本製品には付属しません。

※本機能は「バンドピン外し器」の十字溝で同じ機能としてご使用いただけます。

「時計固定台」は、時計ベルトのバンドピンを差し込む際に使用する時計工具です。

ベルト調整を行った後で、ベルトを固定する際固定台を使わずにバンドピンを差し込もうとすると角度を損ね時計を傷つける可能性があります。



時計固定台に垂直にベルトを設置して、樹脂ハンマーを使い丁寧にバンドピンを押し込んでいくときれいに仕上がります。



樹脂ハンマー

「樹脂ハンマー」は、ベルト調整後のバンドピンを叩いて押し込む際に使う時計工具です。

樹脂側を使用することで、時計を傷つけずにベルト調整をすることができます。



※手、指で押し込むとベルト素材が曲がったり、破損したりする可能性があるのでご注意ください

マイナスドライバー ※



「マイナスドライバー」は、ドライバーで開けられるタイプの腕時計の裏蓋開け道具として使用します。

3点式オープナー&予備ビット



予備ビット

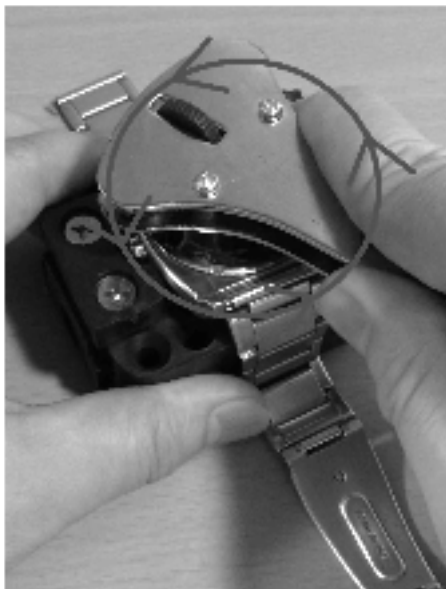


3点式オープナー

3点式オープナーは、電池交換や埃取りなど腕時計裏蓋を開ける際に使用します。予備ビットは各時計に合うようタイプの異なるビットが3個ずつ含まれています。



時計の裏蓋に合うビットを選んだら3点式オープナーに装着してください。
オープナーのビット幅は、棒状部分を回転させることで任意の幅に調整することができます。



時計に合うビットと幅に調整したら、時計固定台にお持ちの時計をうつ伏せに設置して、3点式オープナーのビット部分を裏蓋の窪みにひっかけた状態で左回りに回転させてください。

※お持ちの時計によっては裏蓋が強く固定されている場合がございます。ケガには十分注意してご利用ください。

注意点

輸送上の接触・衝突により、稀にバンド抜きピンやバネ棒外しの先端が曲がっている場合がございます。指の軽い力で位置を戻すことができる仕様ですので、ご自身で位置を戻してからご使用ください。

バンド抜きピン



バンド抜きピンは、バンドピン抜き器に設置できない特殊な形状をした時計であっても、固定台と一緒に使うことでベルト調整が可能な工具です。

バネ棒はずし



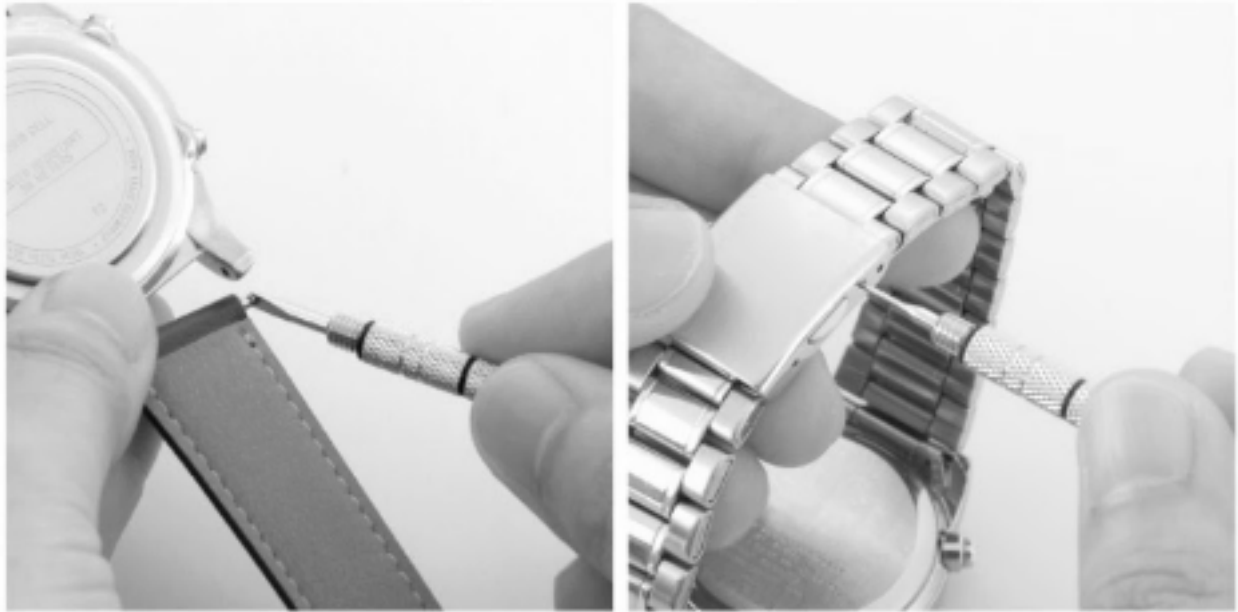
通常版



改良版

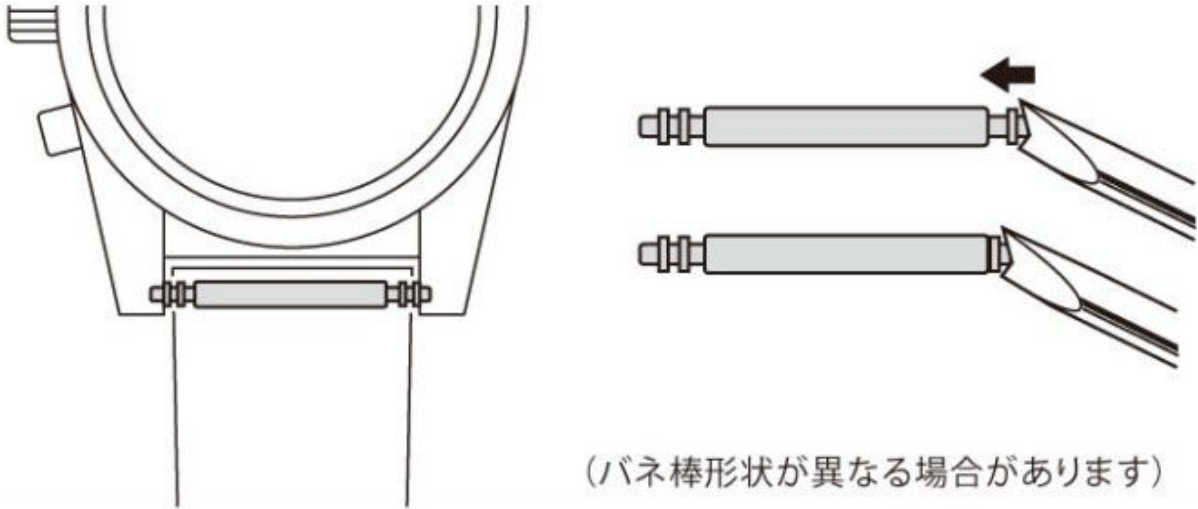
「バネ棒はずし」は、ベルト交換・調整のために使用する時計工具です。Y型で主に革製のベルト交換、I型でその他のベルト交換・調整のためのピンとしてお使いいただけます。

なお「改良版」はY部分を取り外して、逆向きで装着することによって2サイズ仕様の時計に合ったばね棒でベルト交換をしていただけます。



(例)上記写真は、Y型工具でベルト交換、ピン型工具でベルト調整をしている様子です
※時計の種類によって、バネ棒はずしで上記調整が行えない場合があります

バネ棒はずし(Y型)の使い方



時計ベルト根元部分をバネ棒はずし(Y型)で押し付けながらベルトを外してください。

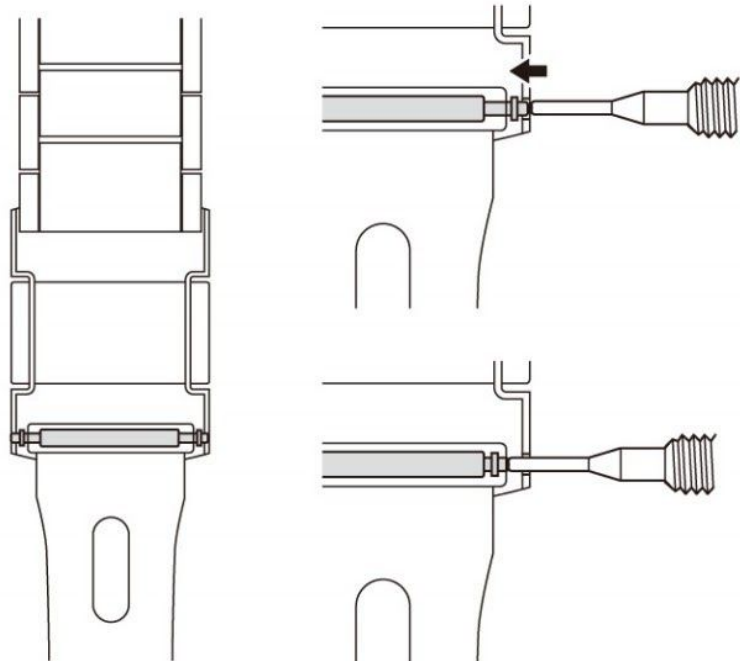
※ほとんどの革製バンドの時計に使用することができます。金属バンドの時計の場合は、Y型部がバンドと時計本体の隙間に入ることを確認してからご使用ください。

バネ棒はずし(I型)の使い方

金属バンドの側面の穴にはばね棒はずし(I型)を押し込みバネ棒を外してください。

※特殊な時計、高級な時計をお持ちの方は、形状が合わない場合がございます。

市販の時計工具ではサイズが合わず損傷や故障の原因になりますので、最寄りのメーカー店舗やメーカーサポートへご連絡ください。



保証書

お客様各位

この度は本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
お客様に本製品を正しくご使用いただいた状態で、自然故障した場合には、保証書規定に記載された期間であれば、修理対応をさせていただきます。

保障規定

- (1) 保証期間はご購入日から1年間とします。
- (2) ご購入日から30日間を超えた場合は往復運賃をお客様にご負担いただきます。
- (3) 商品本体部分のみが保証対象とし、付属品は対象外となります。
- (4) 次の場合は保証期間内であっても、有償修理となります。
 - ・使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障や損傷
 - ・保管上もしくは手入れの不備などによる故障や損傷

お買い上げ日	年 月 日
お名前	
ご住所、電話番号	